

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

30年度行動方針「相手の気持ちを考えよう」

追悼会

当院では、この一年間入院中に亡くなられた方のご冥福をお祈りするため、毎年8月のお盆の時期に亡くなられた入院患者さんのご家族をお迎えして、追悼会（ついでとえ）を開催しております。

追悼会は本来宗教にとらわれない形で行うことが望ましいのですが8月16日に浄土真宗本願寺派真宗寺より2名来院いただき、読経による供養とその後、参加者全員による焼香及び、仏教賛歌にてご冥福をお祈りいたしました。

院長より、「患者さんは日々、色々な事を我々に教えてくださいます。その事から学び、治療に役立てることが我々のできる最大の供養です」との言葉があり、それを胸にこれからもスタッフ一同、より良い精神科医療の実現に向けて精進してまいります。



追悼会の様子

防府看護専門学校 精神看護学実習

防府看護専門学校 看護科3年生41名の精神看護学実習が約3ヶ月間に亘りありました。実習初日は、精神科特有な行動制限についての講義・実践を行ない、午後からは統合実習の中で、『医療における、人・物・金』についての講義を受けます。2日目からが、受け持ち患者さんとの関わりになり、「コミュニケーションがとれません」「問題点が明確になりません」と悩む、実習が始まります。学生は、初めは緊張の表情でいっぱいですが、終わるころには、精神科病院の雰囲気にもなれ笑顔で『辛かったけれども、看護師として大事な経験が出来ました』との感想が聞かれるようになります。「少しでも、精神科の看護に興味を持ってもらえるとうれしいですね」と指導者が話していました。



実習始めの会の様子

～部署紹介 作業療法課～

作業療法課は、診療部に属しており、診療部長（医師）と作業療法士5名で構成されています。それぞれ精神科作業療法担当、精神療養病棟の生活療法担当、認知症治療病棟での生活機能回復訓練担当に分かれ勤務しています。

私たち作業療法士は、患者さんに様々な活動を提供しながら患者さんの心と体の健康を援助しています。当院ではカラオケ、手芸や多種スポーツ活動の他にも季節に応じた行事等を開催しています。準備や運営はなかなか大変ですが、患者さんの「頑張る」「作業は楽しい」という言葉に日々支えられながら仕事をしています。

当院に作業療法士が入職して今年で17年目を迎えます。これからも患者さんの療養生活の楽しみになるような活動を提供しつつ、基本方針の一つでもある『社会復帰のお手伝い』ができるよう様々な工夫を凝らしていければと思います。



作業療法課スタッフ

1日ナース体験

山口県看護協会主催の、中学生・高校生を対象にした「1日ナース体験」の協力病院を引き受けたところ、防府市内・外から3校（4名）の中学生が夏休みを利用して当院にやって来ました。内容は、精神科の病気や看護についてのミニ講義、病院見学、精神科デイケアでの利用者さんとの交流を行ないました。

『将来は看護師へ』という気持ちがあるだけに、プログラムへの取り組む姿勢や、利用者への対応など大変積極的で、精神科に興味があるという事も含め、関わったスタッフは驚いていました。



実習の様子

防災の日

9月1日は防災の日です。それにちなんで、当院でも非常食を提供する訓練が行われました。日頃の給食とは違い、調理師が食事の準備をするのではなく、看護スタッフが備蓄庫に行くところから始まります。非常時を想定しているので、当然、エレベーターや配膳車を使うことなく、看護スタッフがコンテナを持って倉庫と病棟を行き来しながら食事を運びました。非常食に戸惑っている患者さんもありましたが、今年も災害が頻発しており患者さん、スタッフともども万が一の時の心構えができたのではないかと思います。

看護師が準備します。



編集後記

9月24日は、「仲秋の名月」でしたね。当日の十五夜はあいにくの天気でしたが、翌日の十六夜では綺麗な満月を拝むことができました。月に備えるススキには魔除けの意味もあります。この度の災害に遭われた方々にも、心温まる月の光が届いてほしいと願うばかりです。皆さんのところでは、明るく見ごたえのある満月を眺めることができたでしょうか。